

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 湖北地域障害者生活支援センターあ〜と 回収率100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		特性、年齢、活動を考慮し、2カ所で活動しています。長期休暇中は地域の資源を活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	88%	12%	利用者が制限なく中庭などで遊べるよう、場所の見守り職員も配置しています。	平日の施設内での活動は適切です。長期休暇中の外出時は不安がありますが、個々の行動予測を共有して活動を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	94%	6%		中庭への移動について段差がある為、今後スロープ等の整備を検討したいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	94%	6%	3ヶ月毎に個別支援計画の見直しをしています。今年度は放デイの職員だけでなく、別事業の職員からも意見を聞く機会を設けています。	無回答6%
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	94%		評価表や面談時、送迎時などに意見を聞くように心がけています。	今期もガイドラインの評価表を使用し、アンケート調査を実施しました。結果を参考にしています。無回答6%
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	69%	6%		コロナ禍による事業所としての方針などを含め、会報を作成し配布しています。評価結果は法人のホームページにて公開しています。無回答25%
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	63%			法人の経営陣以外で構成された監査委員による内部監査等を実施しています。無回答37%
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		コロナ禍により、WEB研修も取り入れつつ、情勢を見て可能な限り研修に参加できるよう配慮を行いました。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	94%		基準となるアセスメントシートの他、個々に合わせて、個別のシートも活用しています。	無回答6%
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		基本的なアセスメントツールを使用しています。さらに個々に応じたアセスメントツールも使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		チームにて月2回の会議の場で検討し立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		季節の行事を取り入れながら、変化をさせています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		コロナ禍でも提供できる学ぶ活動、身体を動かす活動、製作する活動など、目的を決め、様々なメニューの組み合わせを行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		お子様の興味や特性を見ながら、個別活動と集団活動の組み合わせについて、チームで検討し計画作成を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		毎日支援に入る前に支援員の配置、活動内容、留意点などを確認し合っています。打合せに間に合わない職員には、出勤時個別に伝えています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	56%	25%	終了時間がバラバラなので、伝達方法で共有をしています。また、翌日の支援前に共有をできるようにしています。	無回答19%
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		事実に基づいて記載するように心掛けています。記録の着目点が個々によってずれないように、支援計画内容を記録用紙に記載しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		3か月に一度はモニタリングを行い、支援の振り返りや今後の課題などを検討し、必要に応じて見直し等を行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	69%	6%	チームで検討しながら、様々な活動を組み合わせられるよう配慮しています。	無回答25%	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	88%		児発管と共に担当者も出席できるよう配慮しています。	無回答12%
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%		学校行事の開催について確認をし、送迎時間等調整を行っています。学校での様子はお迎え時に先生よりお聞きしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	63%	31%		医療的ケアが必要な方は現在は受け入れを行っていません。 無回答6%
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	88%		新たに就学されたお子様に関しては、児童発達支援センターからの情報と共に、ご家族の了解のもと保育所等より情報収集をしました。	無回答12%
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	94%		ご家族の方の了解を得て、移行先事業所へ行くなど、スムーズな移行ができるように支援内容など情報提供をし連携をとっています。	無回答6%
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	82%	6%	児童発達支援センターと連携を取りながら、支援にあたっています。	無回答12%
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	31%	50%	コロナ禍のため、直接交流することはないが、地域の活動場所は積極的に参加しています。	無回答19%
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	56%	25%	管理者が参加しています。会議内容等は閲覧しています。	無回答19%
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		お迎え時には必ず様子はお伝えしています。6か月に1度は面談を行い、お子様の状況の把握に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	38%	37%		ご相談には乗っていますが、ペアレント・トレーニング等の直接支援は行っていません。 無回答25%	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	94%		契約時に、運営規定や利用者負担、重要事項の説明などを行っています。送迎時にその都度口頭で伝えるとともに、会報によっても伝える努力をしています。	無回答6%
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	87%	7%		相談があればその都度応じ、学校や相談事業所、児童発達支援センターと連携を取るよう努めています。 無回答6%
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	62%	19%	コロナ禍で交流が少なくなったので、活動内容や大切にしていることを知ってもらう機会を設けました。	無回答19%
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		重要事項説明書にて苦情などの受付担当や第三者委員について記載し、契約時に説明を行っています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	88%		行事予定は毎月ご家族へ配布し、また玄関先にも提示しています。細かな準備物やお知らせ等は、お迎え時に再度個別に伝えるようにしています。	無回答12%
	35	個人情報に十分注意している	100%		個人情報の記載されたファイル等は鍵付きキャビネットに保管し、事務所は夜間、警備会社と契約しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		個々の状況に合わせて意思疎通が図れるように、スケジュールや写真提示、PECSでのやり取りを行っています。日本語での意思疎通が困難な場合は正確に行えるように翻訳機を使用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	37%	コロナ禍のため、招待するような行事は行ってません。地域の方を講師として招いての活動は行いました。	無回答19%

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	75%	6%		策定し、玄関先にいつでも確認できるように提示しています。職員・保護者の方への周知は十分ではないように感じます。 無回答19%
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	63%	6%	隣接する施設と合同で、年2回、避難訓練を行っています。	無回答31%
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	88%		法人全体で取り組んでいます。今年度はコロナ禍の為、事業所内で研修の機会を設け取り組みました。	無回答12%
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	88%		個別支援計画に記載しています。その際、説明時に了解を得ています。拘束を行った場合は、その様子を記載し、検討するようにしています。	無回答12%
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50%	12%		医療ケア(エピペンなど)が必要な方は受け入れをしていますが、医療的ケアの必要がない場合はできる限り対応をしています。 無回答38%
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75%	6%		事例集は作成していませんが、共有できるよう必ず回覧をして会議で検討しています。内容によっては、速やかに職員皆が確認できるよう、書式を変え掲示版にて示しています。 無回答19%

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所 名湖北地域障害者生活支援センターあ〜と 保護者等数(児童数) 23名 回収数 18名 割合 78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	83%	11%		6%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	94%			6%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	83%	6%		11%		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	61%	22%	6%	11%	地域の施設を利用する中で障がいのない子ども達と出会う機会を設けて頂いていると思います。	
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				利用者負担を引き落としてほしい。	前向きに検討していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89%	11%				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	83%	17%				
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	89%			11%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				仕事をしているので日中の電話対応がしづらいので、FAXを使って頂くなど配慮して頂いています。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	89%	11%				
14	個人情報に十分注意しているか	83%			17%			
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	50%	33%		17%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	56%	11%		33%		
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%					
	18	事業所の支援に満足しているか	100%					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。